

2024年6月27日

## 吸収分割に係る事前開示書面（変更）

（会社法第794条第1項および会社法施行規則第192条に定める書面）

大阪市中央区平野町四丁目1番2号

大阪瓦斯株式会社

代表取締役社長 藤原正隆



当社は、当社の子会社である株式会社オージーキャピタル（以下「オージーキャピタル」といいます。）を吸収分割会社、当社を吸収分割承継会社として、オージーキャピタルとの間で締結した2024年4月1日付吸収分割契約書に基づき、2024年7月1日を効力発生日として、オージーキャピタルが不動産事業に関して有する権利義務等を当社に承継させる吸収分割（以下「本件吸収分割」といいます。）を行います。本件吸収分割について、2024年5月7日付で「吸収分割に係る事前開示書面」（以下「本事前開示書面」といいます。）を備え置きしておりますが、吸収分割会社の最終事業年度（2023年4月1日から2024年3月31日）に係る計算書類等の内容が承認されたことに伴い、当該書面の内容に変更が生じたので、会社法第794条第1項および会社法施行規則第192条8号に基づき、下記のとおり、変更後の事項を記載した書面を本事前開示書面と一体のものとして追加して備え置くこととします。なお、変更箇所は下線で示しております。

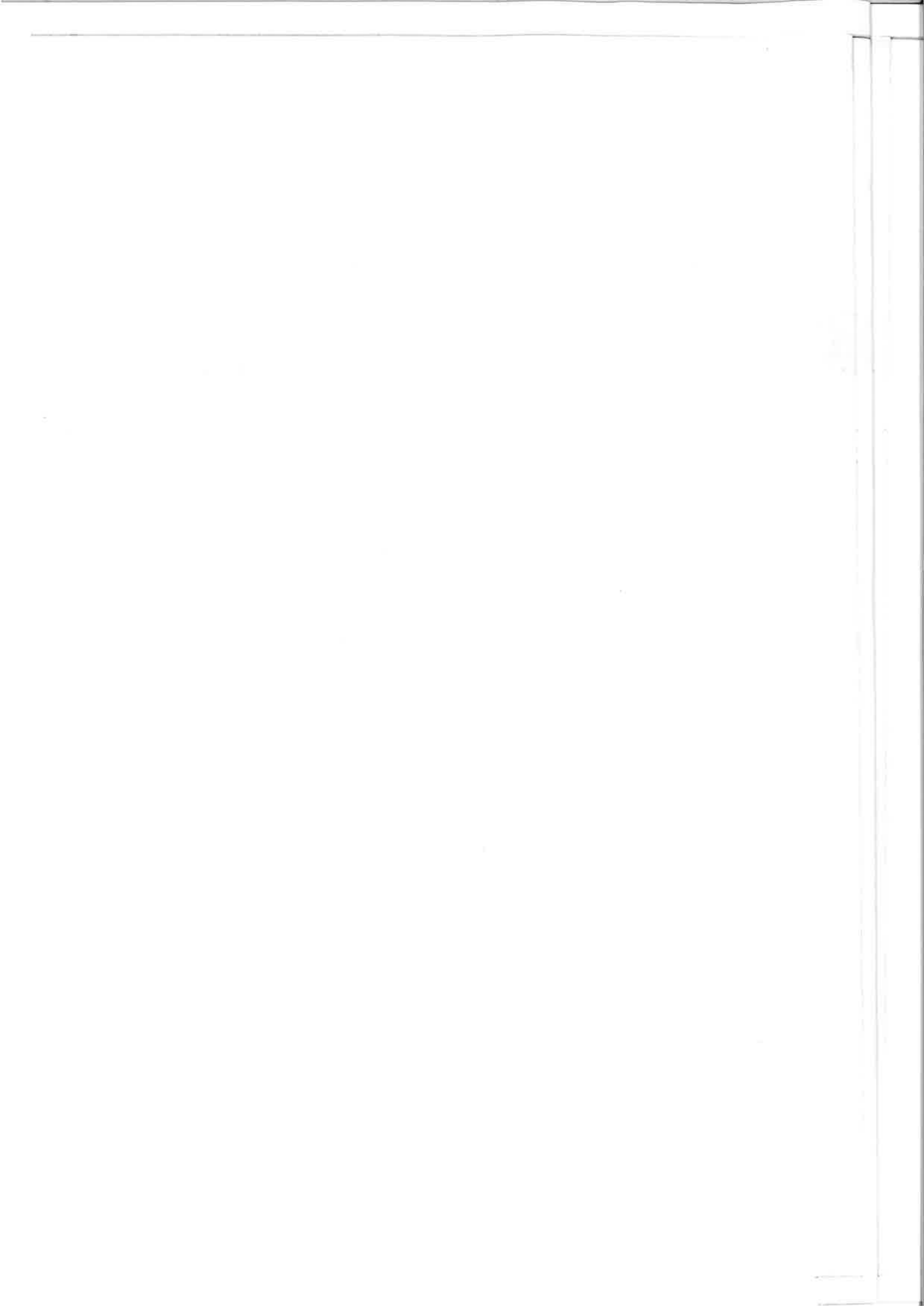
### 記

#### 3. 吸収分割会社に関する事項（会社法施行規則第192条第4号）

##### (1) 吸収分割会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容

オージーキャピタルの最終事業年度に係る計算書類等は、別紙のとおりです。

以上



別紙

第 14 期

計 算 書 類

〔 2023年 4月 1日から  
2024年 3月31日まで 〕

株式会社 オージーキャピタル

# 貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
I 流動資産	2,411,981,445	I 流動負債	841,215,884
現金及び預金	113,440	買掛金	68,522,870
売掛金	19,424,250	未払金	21,093,271
貯蔵品	14,432	未払費用	201,480,000
前払費用	32,177	未払法人税等	372,575,800
短期貸付金	2,392,397,146	その他流動負債	177,543,943
II 固定資産	25,598,117,427	II 固定負債	7,722,088,797
有形固定資産	9,451,542,804	長期未払費用	1,293,647,000
建物	2,182,250,913	繰延税金負債	2,946,694,197
構築物	9,631,403	その他固定負債	3,481,747,600
工具器具備品	17,099,981	負債合計	8,563,304,681
土地	7,242,560,507	純資産の部	
無形固定資産	930,400	I 株主資本	12,532,898,197
電話加入権	930,400	1. 資本金	430,000,000
ソフトウェア	0	2. 資本剰余金	10,815,372,537
投資その他の資産	16,145,644,223	資本準備金	350,855,174
投資有価証券	13,757,651,165	その他資本剰余金	10,464,517,363
関係会社株式	887,945,058	3. 利益剰余金	1,287,525,660
長期前払費用	4,921,000	その他利益剰余金	1,287,525,660
金銭信託	1,495,127,000	繰越利益剰余金	1,287,525,660
		II 評価・換算差額等	6,913,895,994
		その他有価証券評価差額金	6,913,895,994
		純資産合計	19,446,794,191
資産合計	28,010,098,872	負債・純資産合計	28,010,098,872

# 損 益 計 算 書

( 2023年 4月 1日から  
2024年 3月31日まで )

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		2,184,935,352
売 上 原 価		824,916,013
売 上 総 利 益		1,360,019,339
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		78,535,680
営 業 利 益		1,281,483,659
営 業 外 収 益		793,708,996
受 取 利 息	2,135,213	
受 取 配 当 金	791,516,003	
雑 収 入	57,780	
経 常 利 益		2,075,192,655
特 別 損 失		1,600,000,000
子 会 社 へ の 贈 与 金	1,600,000,000	
税 引 前 当 期 純 利 益		475,192,655
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	471,549,508	
法 人 税 等 調 整 額	△ 5,191,254	466,358,254
当 期 純 利 益		8,834,401



## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ①有価証券の評価基準及び評価方法

子会社及び関連会社株式……移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの……事業年度の末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、  
売却原価は、移動平均法により算定)

時価のないもの……移動平均法による原価法

##### ②たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……個別法による原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法

無形固定資産……定額法

#### (3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方法によっております。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 発行済株式の種類及び総数

普通株式 2,001株

#### (2) 剰余金の配当に関する事項

##### ①金銭による配当

2023年10月30日の臨時株主総会において、2023年3月31日を基準日として、

次のとおり決議しております。

(イ)配当財産の種類 金銭

(ロ)株主に対する配当財産の割当に関する事項およびその総額

・当社普通株式1株につき 金221,338円

・総額 金442,897,338円

(ハ)効力発生日 2023年10月31日

### 3. その他の注記

#### (1) グループ通算制度の適用

当社は、当事業年度より、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。

これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計に関する会計処理及び開示については、

「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号2021年8月12日)に従っております。





## 第 14 期 事 業 年 度

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

# 事 業 報 告

株式会社オージーキャピタル

## 事業報告

( 2023年4月1日から  
2024年3月31日まで )

### 1. 企業の現況に関する事項

当期における事業の経過および成果は次のとおりであります。

#### 1. 事業の経過および成果

当社は、2011年3月31日において、株式会社オージーキャピタル（当社と同一商号：2011年3月31日に株式会社オージースポーツとの合併により解散）から会社分割により、シルバービジネスに関する不動産事業と Daigas グループ株式、その他上場株式等の投資事業に関する資産及び負債を承継することにより、新たに設立されました。

当期（第14期事業年度）は実質的に13年目となります。

2017年7月に、それまで当社が担っていたシルバービジネスに関する不動産事業について、シルバービジネスに係る経営資源の一元化を目的として、会社分割によりシルバービジネスを行う子会社である株式会社アクティブライフへと承継しました。これにより、2017年7月以降、当社の不動産事業はなくなり、売上高は0円となりました。

また2022年7月に、株式会社オージースポーツが担ってきた不動産賃貸事業について、Daigas グループの効率的な事業運営を目的として、会社分割より当社が承継いたしました。

当期は、株式会社アクティブライフの債務超過を解消するため、2024年3月に株式会社アクティブライフに対して1,600百万円を贈与しました。これにより、当期の売上高は2,185百万円、経常利益は2,075百万円、当期純利益は9百万円となりました。

#### 当社の財産および損益の状況

区分	2020年度 <第11期>	2021年度 <第12期>	2022年度 <第13期>	2023年度 <第14期>
売上高 (円)	0	0	1,636,587,959	2,184,935,352
経常利益 (円)	413,060,978	391,713,978	1,206,651,640	2,075,192,655
当期純利益 (円)	451,655,863	835,535,639	908,369,684	8,834,517
1株当たり当期純利益 (円)	225,715	417,559	453,958	4,415
総資産 (円)	14,548,689,785	14,165,924,137	23,991,097,299	28,010,098,872
純資産 (円)	10,450,188,498	10,437,589,232	16,734,844,469	19,446,794,191

### 2. 対処すべき課題

前述のとおり、2022年7月に不動産賃貸事業を会社分割により承継したことにより、当社は不動産賃貸事業とグループ株式を中心とした株式を保有・管理する会社となりました。不動産賃貸事業については2024年2月27日に開催した当社取締役会で2024年7月1日付で吸収分割により大阪ガス㈱へ承継することを決定しました。瑕疵なく承継を完了する為、承継手続きを適切に進める必要があります。

また、当社の役員及び従業員の多くは大阪ガス㈱新規事業開発部関連事業チームとの兼務者で構成されておりましたが、大阪ガス㈱の組織再編により、2024年4月1日付で兼務者の所属は企画部関連事業室となりました。今後はDaigasグループの経営管理体制の中で、企画部とより密接に連携し、グループ内における堅実な子会社管理、資産管理を行ってまいります。

### 3. 設備投資の状況

当期は設備投資を行っておりません。

### 4. 資金調達の状況

当期は資金調達を行っておりません。

## II. 会社の概況 (2024年3月31日現在)

### 1. 主要な事業

不動産賃貸業  
グループ会社株式等の管理

### 2. 株式に関する事項 (2024年3月31日現在)

#### (1) 発行株式数と株主数

項目	内容
会社が発行する株式の総数	8,000株
発行済株式の総数	2,001株
当期末株主数	1名

#### (2) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
大阪ガス株式会社	2,001	100

### 3. 企業結合の状況

#### (1) 親会社との関係

当社の親会社は大阪ガス株式会社であり、当社の議決権の100%を保有しております。

#### (2) 重要な子会社の状況

会社名	資本金 (円)	持株比 率 (%)	主要な事業内容
㈱アクティブライフ	100,000,000	100.00	有料老人ホームの運営及び、介護サービス事業
大阪ガスオートサービス㈱	100,000,000	100.00	自動車のリース事業、整備事業、安心運転教育事業
大阪ガスビジネスクリエイト㈱	100,000,000	100.00	人事サービス事業、経理サービス事業、オフィスサービス事業、施設管理事業、駐車場の経営及び管理、情報通信事業、セールスプロモーションイベントの企画・運営

### 4. 主要な借入先

期末の借入金はございません。

## 5. 主要な事業所

本社〔大阪府〕

## 6. 従業員の状況

従業員数	5名
------	----

## Ⅲ. 役員に関する事項

## 1. 取締役および監査役の氏名等（2024年3月31日現在）

地位	氏名	担当	他の法人等の代表状況等 または重要な兼職の状況
代表取締役社長	佐藤 克 峰		大阪ガス㈱新規事業開発部長
取締役会長	松 坂 英 孝		大阪ガス㈱顧問
取締役	亀 井 暁 郎	業務管理本部長	大阪ガス㈱新規事業開発部 マネジャー
監査役（非常勤）	勾 田 勝 久		大阪ガスビジネスクリエイト㈱監査役 ㈱KR I 監査役 エス・イー・アイ㈱監査役

(注) 1. 2024年4月1日、代表取締役社長佐藤克峰は、任期満了により退任しました。また同日、亀井暁郎が代表取締役社長に、山本寛之が取締役に就任しました。

2. 取締役の地位および担当ならびに重要な兼職の状況は、2024年4月1日、以下の通りとなりました。

地位	氏名	担当	他の法人等の代表状況等 または重要な兼職の状況
代表取締役社長	亀 井 暁 郎		大阪ガス㈱企画部関連事業室長
取締役会長	松 坂 英 孝		大阪ガス㈱顧問
取締役	山 本 寛 之	業務管理本部長	大阪ガス㈱企画部関連事業室
監査役（非常勤）	勾 田 勝 久		大阪ガスビジネスクリエイト㈱監査役 ㈱KR I 監査役 エス・イー・アイ㈱監査役

以 上

## 監査報告書

2023年4月1日から2024年3月31日までの第14期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、監査役監査の基準に準拠し監査方針、監査計画等に従い、取締役及び使用人等と意思疎通を図りながら、以下の方法で監査を実施いたしました。

- (1) 取締役会に出席するほか、随時、取締役及び使用人等からその職務の執行状況を聴取し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。
- (2) さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度の係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2024年4月22日

株式会社 オージーキャピタル

監査役

勾田 勝久 



これは原本と相違ありません

大阪府中央区半野町四丁目1番2号

大阪瓦斯株式会社

代表取締役社長 藤原正隆

